

進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校

第3号

令和元年10月4日発行



未来から今を考える②

第1号から引き続き、本校卒業生から、在学中に学んで良かったこと、もっとやっておけばよかったと思っていること等、インタビューした内容を掲載しています。進路について、ご家族で考えるきっかけにしていただけたらと思います。

今号は、平成30年度に卒業した山王丸留菜さんです。3つの事業所（生活介護）を利用しながら、自宅で生活しています。今回は、留菜さんのお母さんにお話を伺いました。



留菜さんの1週間の過ごし方

	事業所	時間	送迎	入浴
月	医療療育センター 「よつ葉」	9：30～15：30	母 ○	
火	「聖和」	9：45～15：45	○	
水	「ウェルビューアイズみ 共生デイサービスセンター」	9：00～16：30	○ ○	
木	「ウェルビューアイズみ 共生デイサービスセンター」	9：00～16：30	○ ○	
金	「聖和」	9：00～15：30	○ ○	
土	「聖和」	9：00～15：30	○※	○

※利用者の人数によって時間は変動するそうです。

1| 3つの事業所を利用して、良かったところ、大変なところは？

良かったところ→いろいろな人と関わることができます。

大変なところ→事業所によって、送迎時間や持ち物が違います。リズムの違いから疲れが見られることがあります。持ち物は場所によってかばんを変えて対応していますが、慣れるのが大変です。

2| 学校で学んで良かったこと、やっておけばよかったことは？

良かったこと→事業所では、毎日継続して何かに取り組むという機会が減ったので、学校で朝の当番など、見通しをもって毎日繰り返し学習に取り組めたことがよかったです。

現在はウォーカーに乗る機会がなくなり、体重が増加してきているので、体育やウォーカーでの歩行で、たくさん体を動かしたことがよかったです。

やっておけばよかったこと→在学中にもっといろいろな事業所を見学しておけばよかったです。
事業所の方に、顔を知ってもらうことも大切だと思いました。

3| 進路を決めるときに、大事にしたことは？

発作があるので、ゆっくり過ごせて、自宅から近いところが良いと考えました。また、送迎や入浴サービスが利用できるかということもポイントになりました。

子どもに合った事業所を見付けられるように、在学中にいろいろな事業所を見学し、情報を集めていくと良いと思います。

(文責:池田和)

裏面は学部毎に内容が異なります。ご希望があれば差し上げますので、担任にお伝えください。また、学校のホームページと、玄関前の掲示版でも見ることができます。

【各学部掲載記事】

小学部：卒業生の進路先について 中学部：高等部卒業後の進路②II～生活介護施設での生活（入所型）
高等部：進路や卒業後の事業所の情報について

【共通記事】同窓会総会・成人を祝う会について

高等部卒業後の進路②Ⅱ～生活介護施設での生活（入所型）

前号では、実際に生活介護事業所を利用している先輩の、一週間の利用状況を紹介しました。それぞれの事業所のよさ、特徴をとらえ前向きに利用している例でした。今号では、入所型事業所での1日について紹介します。

例：『障害者支援施設桐ヶ丘』

<1日の流れ>

- 6:00 起床
- 7:30 朝食
- 9:00 健康チェック、入浴、通院、水分補給
リハビリ活動
- 12:00 昼食
- 13:30 入浴、趣味活動（月1回）、リハビリ活動
水分補給、足浴、洗髪
- 17:45 夕食
- 20:00 就寝準備
- 21:00 就寝
- 22:00 消灯



(桐ヶ丘パンフレットより)

1日の流れを紹介した『桐ヶ丘』ですが、毎日の活動の他に、毎月「グループ外出」があつて買い物をしたり、公園や観光地に出掛けたりしていました。また、「触れ合い交流会」や「夏まつり」「桐ヶ丘祭」「ゲーム大会」「クリスマス会」「新春のつどい」など各種行事があり、メリハリのある生活を送ることができそうです。本校の卒業生で、利用している方もいます。

中学部での事業所見学や高等部での現場実習だけでなく、短期入所事業などをを利用して実際に体験をしてみることや日課を参考にして普段の生活リズムについて考えることも高等部卒業後の進路を決める際の材料になると考えます。

(文責：佐々木龍)

同窓会総会・成人を祝う会が行われました

8月3日土曜日、学校の会議室で同窓会総会と成人を祝う会が行われました。総会では予算や活動計画などが承認され、成人を祝う会には、同窓生や保護者、旧担任など63名が参加し、お祝いをしました。会員が司会進行し、おいしい弁当やお菓子を食べながらお互いの近況や学校時代の思い出話に花が咲きました。



同窓会の活動と追指導について・・・卒業後も学校や社会とつながっていくために・・・

同窓会は規約に基づいて、「在籍したことのある者で、入会の意思を示した者を正会員とする」とあり、高等部卒業生はほぼ入会しています。現在会員は94名。運動会、きらり祭などの行事の案内、総会資料や会報の送付、20歳の年には成人を祝う会への案内状が届きます。会費は年間1,000円を郵便振り込みで納入します。

また、同窓会活動とは別に、進路指導の一環として昨年度より「追指導」を行っており、卒業後3年間をめどに、旧担任や進路指導部員らが進路先と連携を取り合っています。必要に応じ年一回程度進路先に出向いています。